

登米市のできごと
おしらせします!



▲身近にあるタオルを使い、体操を楽しむ皆さん

食 津山いきいき講座フォローアップ研修 事と運動の大切さを再確認

津山ふれあいセンターで12月15日、「つやまいいき講座（フォローアップ研修）」が開催されました。この講座は参加者が生き生きとした生活を送るとともに、リーダーとして地域の人たちに健康づくりを広めてもらうことを目的としています。今年度の最終講座となった今回は、東北文化学園大学の植木教授を講師に迎え、「元気になる食事と運動」をテーマに、高齢期に必要な栄養素や食事のとり方、タオルを使った体操を行い、食事と運動の大切さを実感した研修会となりました。

登米で新春懇談会 今年の地区の飛躍を願う

登米町新春懇談会（新春懇談会実行委員会主催）が1月7日、とよま観光物産センター「遠山之里」で開かれ、地元の事業所や行政関係団体などから約90人が参加しました。懇談会では、市制5周年を記念し登米市の「花（さくら）鳥（はくちょう）木（すぎ）」の制定や三陸縦貫自動車道登米東和ICの開通、9年間継続している死亡事故ゼロ記録、新登米診療所の建設と特別養護老人ホームの新設などを話題に親睦を深め、登米地区がさらに飛躍できるよう抱負を語り合いながら、気持ちを新たにしていました。



▲地区の事業所・団体などの関係者が参加し、新年を祝いました

石越で夕暮れ時の交通事故防止運動 早めのライト点灯で事故防止

交通事故は、夕暮れ時から夜間の時間帯に多く発生し、特に午後4時から午後6時の時間帯に最も多く発生しています。この現状を踏まえ、12月20、21日の2日間、夕暮れ時の交通事故を石越地区から無くそうと、石越地区の各交通安全団体関係者延べ80人が結集し、石越総合支所入り口前県道沿いで「4時ライト運動」を実施しました。参加者は寒空の下、のぼり旗や横断幕などを掲げて、県道を走行する自動車のドライバーに早めのライトの点灯を呼び掛けました。



▲交通事故防止を願い、ライトの早め点灯を呼び掛けました



▲幻想的な雰囲気の中、ホールには優雅な音色が響き渡りました

中田で室内楽交響曲演奏会「冬の調べ」 心に響く優雅な音色を楽しむ

室内楽交響曲演奏会～冬の調べ～が12月18日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。演奏会では、東北大学交響楽団OBと木の家合奏団有志の皆さんを迎え、ピアノとバイオリンの独奏を中心にフルートを交えた交響曲が演奏されました。会場では、35000球のイルミネーションが灯る光のページェントも同時開催され、集まった約100人の観客は幻想的な雰囲気の中、静かで心に染みる音色に聴き入りながら一足早いクリスマス気分を味わっていました。



▲日々の活動が高く評価され受賞した優良団員の皆さん

市スポーツ少年団迫支部優良団員表彰式 さらなる活躍と努力を誓う

市スポーツ少年団迫支部の平成22年度優良団員表彰式が12月15日、ホテルサンシャイン佐沼で開催されました。表彰式では、23団体から優秀な成績をおさめた人や、チームのために一生懸命努力・貢献した17人の優良団員に阿部支部長から表彰状が贈られました。受賞団員を代表して、迫剣道スポーツ少年団の千葉康太郎君（佐沼中学校3年）が、保護者や指導員への感謝の気持ちを伝え、「次のステップに向けさらに頑張りたいと思います」と感謝の言葉を述べました。

南方子育てサポートセンターで「ぼっぽの日」 みんなで楽しくおもちつき

地域の交流を目的に、子育てサポートセンターと南方児童クラブ保護者会が共催で行っている、昔ながらのきねと臼を使ってもちをつく「もちつきペタン」が1月15日開催され、赤ちゃんから大人まで約130人が参加しました。子どもたちは初めて見るきねと臼に戸惑いながらも、大喜びでもちつき体験をしていました。調理は、南方農村生活研究グループ連絡協議会の協力をもらい、あんこもちやお雑煮、にらツナもちなど4種類のもちが振る舞われ、みんなとてもおいしそうに食べていました。



▲きねと臼を使ったもちつきに、興味津々の子どもたち